

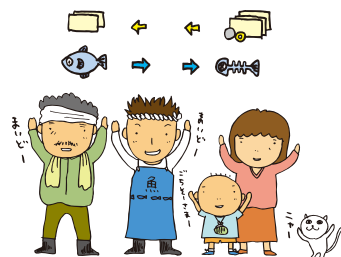


こんにちは、知るぽると山口通信です。
朝夕涼しく過ごしやすいようになったこの時期…
秋の夜長に、ご自分のおかねのこと…ちょっと考えてみませんか？

イベント報告

親子のためのおかね楽習フェスタ in ほうふを開催しました。

日 時 : 平成28年8月10日(水) 11:00～16:00
会 場 : ルルサス防府(防府市地域協働支援センター)
講 師 : あんびる えつこ 先生(生活経済ジャーナリスト)
岩田 和久 支店長(日本銀行下関支店)



昨年度、下関で初めて開催した「親子のためのおかね楽習フェスタ」ですが、今年度は県央部の防府市で開催しました。

あんびる先生のお話では、ワークショップを通して限られたお金の中で「必要なもの」と「欲しいもの」を考えることの大切さ、グループワークで異なる作業過程(効率)によって生まれる「違い」、グループで協力して「ものを生み出す」ことの大切さなどを教えていただきました。

また、自由参加プログラムでは紙幣(模擬券)の重さ、硬貨の枴振りなど、いろいろな体験をしながら、クイズ形式でおかねについて学んでいただきました。

当日は、全プログラム約250名の皆様にご来場いただきました。ありがとうございました。



あんびる先生によるおはなし



岩田支店長によるおはなし



自由参加プログラム



親子のための おかね楽習フェスタ in ほうふ
8/10(水) 11:00-16:00
会場: ルルサス防府 防府市地域協働支援センター(防府市防府)
事前申込プログラム(定員 約35名程度) 参加無料
にもさんのおはなし 会場: 研修室2 講師: 岩田 和久(日本銀行下関支店)
【4～6年生対象】11:10～12:00 「お札のひみつにちぎんの仕事」
「にちぎん及店員にいろいろ聞いてみよう!」
【1～3年生対象】14:00～14:50 「お札はどれが正しい?」にちぎんについて知ること!
あなさんが手紙に書いていたことに気づかせることができます。
ワークショップ 会場: 多目的ホールA
【4～6年生対象】12:50～13:50 「ワークショップで学ぶお金の上手になるための3つの習慣!」
【1～3年生対象】15:00～16:00 「お宝ってなに? “かしー”作りゲーム」でお金のヒミツを学ぼう!
講師: あんびる えつこ 氏(生活経済ジャーナリスト)
自由参加プログラム 会場: 多目的ホールB
★貯金箱作成コーナー 自由参加のプログラムを体験しよう! ※1億円(模擬券)の量の体験コーナー
★1万円札の背番号りきり写真撮影コーナー あなでもお宝探しにしよう!
★知るぽるとおわらびクイズ 全問正解で賞品がもらえるよ! ※資料提供コーナー
★お札の産地体験コーナー 産地の紙幣を触ってみよう! 産地の紙幣の産地を体験してみよう!
★硬貨の枴振り体験コーナー 硬貨を枴で振ってみよう!

破れたお札の引き換え(鑑査)体験

模擬硬貨の枴振り体験

応募チラシ・内容

子どものためのおかね教室 おかね博士になろう！ in 宇部を開催しました。

日時： 8月23日（火）14:00～16:00
会場： 山口銀行宇部支店
講師： 堀井 誠 総務課長（日本銀行下関支店）
瀬本 健治 課長代理（山口銀行宇部支店）



当日は、夏真っ盛りの猛暑にもかかわらず、58名の皆さんにご参加いただきました。お札や日本銀行に関するクイズ、お札の数え方や閉店後の店舗見学などの体験をしていただきました。会場入口では、ペッパーも明るく陽気に☆皆さんをお出迎えしてくれましたよ！！



堀井総務課長（日銀）によるクイズ



瀬本課長代理（山銀）によるお話



1億円の重さわかるかな？



ペッパーのお出迎え☆

ママのためのおかね講座 知るぽると山口塾 in まなべるを開催しました。

日時： 9月8日（木）10:00～11:30
会場： 山口県消費生活センター 消費者教育施設まなべる（山口県庁内）
講師： 中村 久枝さん（金融広報アドバイザー）
岡村 延枝・永塚 奈奈（県消費生活センター職員）



このたび、子育て世代のお母さんのための「おかね講座」を初めて開催しました。マットを敷き詰めた会場でゆったり座ったまま、あえて託児を設けずにお子さんの近くでお話を聴いていただきました。初めての試みでしたが、会場はたくさんのお母さんとお子さんで、アットホームながらも、かわいい笑顔があふれるにぎやかな講座となりました。



皆さんの生活に、より身近な金融・経済に関する情報をお届けします。

第5回目は・・・中村アドバイザーによる



「高額療養費制度」



です！！



■ 上手に利用したい「高額療養費制度」

生活には欠かせない公的保障制度は多数あります。特に医療、介護、老後等に関わる保障制度は家計に大きく関係してきます。今回は医療に関する「高額療養費制度」についての話です。

この制度には70歳未満対象と70歳以上対象があります。“入院してお金が沢山掛かったら戻ってくるんでしょ…”確かに多額の医療費が掛かった時に困らないための制度ですが、家計での使い方は果たしてそれだけでしょうか。皆さんは医療に対して、どれだけ費用が掛かるかわからない、その時困らないようにと民間の医療保険等に加入されていることが多いと思いますが、「高額療養費制度」を考慮して加入されていますか。

■ 高額療養費制度（70歳未満）のしくみ

同じ人が、同じ月、同じ医療機関で支払った医療費が自己負担額を超えた場合、超えた分について本人の申請により、各公的医療保険から払い戻される制度。（医療費には食事代、差額ベッド代等含まない）

例えば月給（標準報酬月額）30万円、社会保険に加入しているAさんがケガで入院しました。1ヶ月の総医療費が100万円掛かった場合、3割の自己負担で30万円支払う必要があります。ところが高額療養費制度を利用すると下表①により区分ウの場合で、87,430円の自己負担で済むこととなります。（標準報酬月額30万円のケース：区分ウに該当）

では200万円の総医療費の場合だとどうなるのでしょうか。本来3割負担分60万円のところ、97,430円の自己負担となり、総医療費100万円の場合と比較すると3割負担分は倍になるのに、この制度を利用することで1万円増の自己負担額で済むことが分かります。

■ 保障額の考え方

表②を参照ください。医療費が掛かった場合必要な保障額をどう準備したらいいのか、その考え方の図です。まず①必要な保障額を算出、そこから②公的保障制度（高額療養費制度）、③預貯金などを考慮し最後に民間の医療保険・共済等でまかなう保障額を算出して万一に備えてはどうでしょうか。必要以上に保障額を増やしてしまうことで、家計を圧迫しないように考えましょう。

【表①】 高額療養費制度（70歳未満）

（協会けんぽHPより）

所得区分	自己負担限度額	多数該当
①区分ア (標準報酬月額83万円以上の方)	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) x 1%	140,100円
②区分イ (標準報酬月額53万円～79万円の方)	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) x 1%	93,000円
③区分ウ (標準報酬月額28万円～50万円の方)	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) x 1%	44,400円
④区分エ (標準報酬月額26万円以下の方)	57,600円	44,400円
⑤区分オ (低所得者) (被保険者が市区町村民税の非課税者等)	35,400円	24,600円

【表②】 保障額の考え方

① 必要な保障額

医療保険・共済等でまかなう保障額

③ 預貯金でまかなえる保障額

② 高額療養費でまかなえる保障額

県内公民館での知るぽると講座情報（連携講座事業）

平成28年度も引き続き、小学生からシニア世代まで幅広い年齢層に向けた各講座を県内各公民館等で開催しております。詳しくは、最寄りの公民館等が当委員会事務局までお問合せください。なお、開催しない地域・場所等もありますので、何卒御了承ください。（太字は開催済み）

《**下関市**》 *教育委員会豊北支所 ***豊田中公民館**

《**宇部市**》 ***鶴の島ふれあいセンター**

《**山口市**》 ***大殿地域交流センター**

《**防府市**》 ***牟礼公民館** ***西浦公民館** ***中関公民館**

《**岩国市**》 ***中央公民館南河内分館** ***中央公民館川下地区** ***中央公民館愛宕地区**
***中央公民館装港地区** ***教育委員会玖珂支所**

《**長門市**》 ***中央公民館** ***通公民館**

《**柳井市**》 ***大畠公民館**

《**周南市**》 ***須金公民館** ***秋月公民館** ***遠石公民館** ***鹿野公民館**

《**山陽小野田市**》 ***有帆公民館** ***本山公民館**

《**周防大島町**》 ***東和総合センター**



《主な内容》

○シニア世代等向け・・・「ちてきにすてきな老ひ支度」「介護する人、される人」

○小学生向け・・・「にちぎん出前教室」「子どものためのやりくり教室」・・・などなど

県民の皆様に、少しでも楽しく・わかりやすく学んでいただける講座を開催しております。

どうぞ、お気軽にお問合せください。



編集後記

過ごしやすい気候になってきましたが、皆様いかがお過ごしですか？
さてさて…プロ野球界では、25年ぶりにリーグ優勝した広島東洋カープ。
昔からのファンとしては、とてもうれしく、本当に感動しました（ToT）
広島の街も、いつも以上に活気に溢れていますよ！！
経済効果もすごそうですね☆
地元小学校では、カープについての授業があるのだそうです。楽しそう！！



発行元

山口県金融広報委員会事務局

〒753-8501 山口市湊町1-1 山口県県民生活課内

TEL 083-933-2608

ホームページ：http://www3.boj.or.jp/shimonoseki/save.htm

知るぽると
山口

